

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2009年11月30日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エキイティ・ファンド クラスJ」の投資証券(米ドル建て)およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年5月12日および11月12日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

運用報告書(全体版)

イーストスプリング・ インドネシア株式オープン

第25期(決算日 2022年5月12日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス:<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
21期 (2020年5月12日)	円 5,964	円 0	% △34.4	% 97.2	百万円 5,778
22期 (2020年11月12日)	7,539	0	26.4	98.1	7,252
23期 (2021年5月12日)	7,615	0	1.0	95.6	6,997
24期 (2021年11月12日)	8,624	0	13.3	98.2	7,444
25期 (2022年5月12日)	10,189	0	18.1	92.8	8,423

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
(期首) 2021年11月12日	円 8,624	% —	% 98.2
11月末	8,519	△ 1.2	98.2
12月末	8,591	△ 0.4	97.8
2022年1月末	8,488	△ 1.6	97.6
2月末	8,812	2.2	97.8
3月末	9,658	12.0	98.2
4月末	10,420	20.8	93.1
(期末) 2022年5月12日	10,189	18.1	92.8

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額等の推移について

(2021年11月13日～2022年5月12日)



第25期首	8,624円
第25期末	10,189円 (既払分配金0円)
騰落率	18.1% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・インドネシア株式市場が上昇したこと。
- ・インドネシアルピアが対円で上昇したこと。

インドネシア株式市場

当期のインドネシア株式市場は上昇しました。

期初から2022年2月下旬にかけては、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大、インフレ懸念、世界の主要中央銀行による金融政策正常化の動きなど、リスク資産にとってはネガティブな材料を背景に投資家センチメントが悪化する中でも、商品価格の上昇を受け底堅い展開となりました。3月以降はロシアによるウクライナ侵攻を受けて、商品価格が一段高となったことや外国人投資家の資金流入が増加し、株式市場は上昇しました。商品価格の高騰が追い風となり貿易収支が改善したことも好感されました。5月上旬から期末にかけては、米国の急速な金融引き締め懸念を背景に世界的に株式市場が不安定となったことや投資家の利益確定売りが優勢となったことから株式市場は下落しました。

為替市場

当期のインドネシアルピアは対円で上昇しました。

期初から2022年3月上旬まではインドネシア国内の新型コロナ感染状況の悪化や米国の金融政策正常化に伴う米金利上昇などを受けて狭いレンジでの推移となりました。その後は堅調な商品市況を背景とした貿易収支の改善や株式市場への外国人投資家の資金流入などから堅調となりました。低金利政策を維持する日本と米国の金利差が意識され円安が進行したため大幅に上昇しました。

国内債券市場

期初から、2022年2月上旬にかけて日本国債利回りはインフレ懸念、世界の主要中央銀行による金融政策正常化の動きなどの材料を背景に上昇（価格は下落）しました。2月下旬にはロシアのウクライナ侵攻を受けたリスク回避姿勢から一時低下しましたが、米国の金融引き締めを急ぐとの観測を背景に上昇に転じました。3月中旬から期末にかけては狭いレンジでの推移となりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「インドネシア・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インドネシア・エクイティ

主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を主要な投資対象として、企業の本質的な価値を重視したバリュー投資を基本とし、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行いました。

当期は石炭会社Adaro Energy、鉱山会社Merdeka Copper Gold、大手銀行Bank Negara Indonesia、Bank Rkyat Indonesiaの保有などがプラスに寄与した一方で、セメント会社Semen Indonesia、食品会社Charoen Pokphand Indonesia、銀行Bank Jagoの保有などがマイナスに影響しました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第25期	
	2021年11月13日 ~2022年5月12日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,563

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインドネシア・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

インドネシア・エクイティ

インドネシア経済の長期的な見通しについては、人口動態の有利性や健全なマクロファンダメンタルズなどを考慮し、引き続き前向きに捉えています。新型コロナウイルスのパンデミックによる混乱は今後もしばらく続き、短期的には企業収益への負の影響も予想されますが、国としての基本的な成長に大きな影響を与える可能性は低いとみています。インドネシアは公的債務比率が低くインフレ率も緩やかであるため、財政刺激策と金融緩

和策の両方を実施する余地があると考えられます。一方で、インドネシアは経常赤字や外資への依存度が高いことから、投資家のリスク回避姿勢が強まる局面では通貨の下落には注意が必要です。今後の状況を注視しつつ、市場の調整局面はファンダメンタルズが堅固な企業の株式を割安な水準で組み入れる好機と考えています。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofA 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1万口当たりの費用明細

(2021年11月13日～2022年5月12日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	66円	0.725%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,081円です。
(投信会社)	(27)	(0.300)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(37)	(0.409)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.015	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(1)	(0.008)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	67	0.740	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

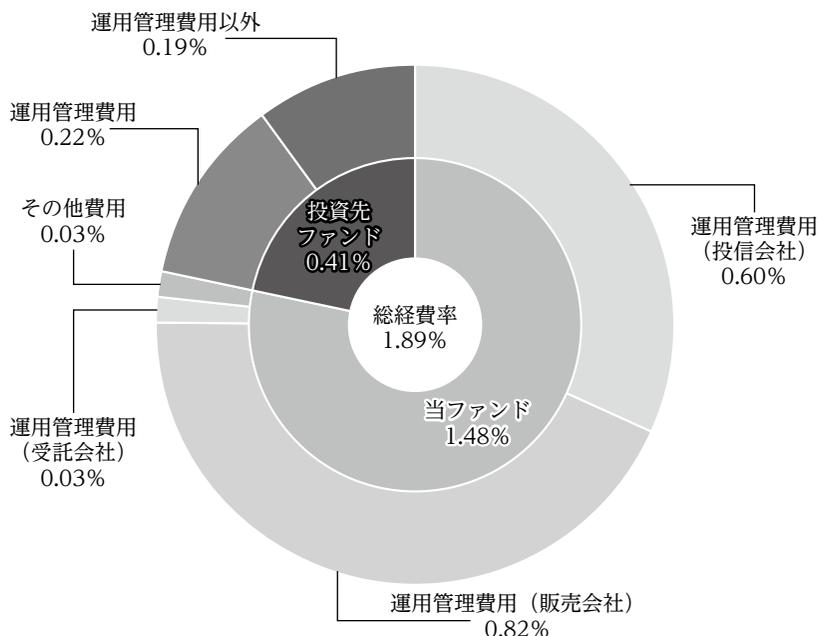
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



総経費率 (①+②+③)	1.89%
①当ファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.19%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買及び取引の状況

(2021年11月13日から2022年5月12日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米 ド ル 建 ルクセンブルグ籍	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			25	500	387	7,300

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2021年11月13日から2022年5月12日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2022年5月12日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口 15,851	千口 15,851	千円 16,935	% 0.2
合 計	15,851	15,851	16,935	0.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首 (前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	千口 3,481	千口 3,120	千米ドル 60,097	千円 7,798,847	% 92.6
合 計	3,481	3,120	60,097	7,798,847	92.6

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2022年5月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 16,935	% 0.2
投 資 証 券	7,798,847	91.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	717,285	8.4
投 資 信 託 財 産 総 額	8,533,067	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(7,798,847千円)の投資信託財産総額(8,533,067千円)に対する比率は91.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年5月12日における邦貨換算レートは、1米ドル=129.77円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年5月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,533,067,738円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	717,284,686
投資信託受益証券(評価額)	16,935,275
投 資 証 券(評価額)	7,798,847,777
(B) 負 債	109,750,700
未 払 解 約 金	54,192,139
未 払 信 託 報 酬	54,459,361
未 払 利 息	2,060
そ の 他 未 払 費 用	1,097,140
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	8,423,317,038
元 本	8,266,674,444
次 期 繰 越 損 益 金	156,642,594
(D) 受 益 権 総 口 数	8,266,674,444口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,189円

(注1) 元本の状況

期首元本額	8,633,006,580円
期中追加設定元本額	799,045,348円
期中一部解約元本額	1,165,377,484円

(注2) 1口当たり純資産額は1.0189円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2021年11月13日 至2022年5月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 108,008円
受 取 利 息	4
支 払 利 息	△ 108,012
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,257,689,622
売 買 益	1,298,156,469
売 買 損	△ 40,466,847
(C) 信 託 報 酬 等	△ 55,556,501
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	1,202,025,113
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 397,385,391
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 647,997,128
(配 当 等 相 当 額)	(487,717,837)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,135,714,965)
(G) 計 (D+E+F)	156,642,594
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	156,642,594
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 647,997,128
(配 当 等 相 当 額)	(487,717,837)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,135,714,965)
分 配 準 備 積 立 金	804,747,730
繰 越 損 益 金	△ 108,008

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(656,322,767円)、信託約款に規定する収益調整金(487,717,837円)および分配準備積立金(148,424,963円)より、分配対象収益は1,292,465,567円(10,000口当たり1,563円)ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	主として、インドネシアの企業の株式または株式関連証券に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	以下の企業の株式または株式関連証券を主要投資対象とします。 ・インドネシアで設立または上場している企業 ・インドネシアにおいて主に事業展開を行っている企業 なお、ADR、GDR等の預託証券、転換社債、優先株、ワラント債にも投資することができます。	
ベンチマーク	MSCI Indonesia 10/40 Index (MSCIインドネシア 10/40指数) ※ ¹	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	管理会社	イーストスプリング・インベストメンツ (ルクセンブルグ) S. A.
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.225%	
管理費用等	年率0.200%程度	
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2007年7月2日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) ※ ²	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22% (税抜0.2%)	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)	

※¹ MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※² ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」を含む「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2021年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

損益計算書及び純資産変動計算書

2021年12月31日に終了した事業年度		米ドル
期初純資産		112, 503, 686
収益		
配当金		2, 035, 746
預金利息		34
収益合計		2, 035, 780
費用		
運用報酬		681, 462
管理費用		175, 792
保管銀行費用		78, 528
取引手数料		23, 880
管理・名義書換代行事務費用		33, 207
監査費用、公告・印刷費用		1, 222
税金		24, 543
借越利息		226
役員報酬		506
その他費用		2, 971
費用合計		1, 022, 337
純投資収益（損）		1, 013, 443
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損）		(2, 907, 249)
外国為替先渡取引に係る実現純利益（損）		(1, 468)
外国為替に係る実現純利益（損）		(14, 790)
実現純利益（損）		(2, 923, 507)
投資有価証券に係る未実現評価益（損）の変動額		1, 162, 834
外国為替に係る未実現評価益（損）の変動額		(2, 679)
未実現評価益（損）の変動額		1, 160, 155
運用による純資産の純増加額（減少額）		(749, 909)
資本金の変動		
投資証券の発行		23, 089, 729
投資証券の解約		(34, 897, 642)
当期の純資産の変動額		(12, 557, 822)
期末純資産		99, 945, 864

投資有価証券明細表（2021年12月31日現在）

（米ドル表示）

銘柄	数量	通貨	取得金額	評価金額	対純資産比率 (%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制ある市場で取引されている譲渡可能な有価証券					
株式					
Indonesia					
Adaro Energy Tbk PT	30,391,300	IDR	2,842,187	4,808,392	4.81
Aneka Tambang Tbk	21,020,200	IDR	3,896,454	3,324,565	3.33
Astra International Tbk PT	15,947,800	IDR	7,660,819	6,384,129	6.39
Avia Avian Tbk PT	16,000,000	IDR	1,054,098	1,037,322	1.04
Bank Central Asia Tbk PT	15,895,800	IDR	4,926,857	8,148,859	8.15
Bank Mandiri Persero Tbk PT	9,596,860	IDR	3,843,359	4,743,118	4.75
Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT	12,178,336	IDR	5,050,031	5,774,002	5.78
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	30,621,617	IDR	6,887,051	8,845,628	8.85
Barito Pacific Tbk PT	41,157,100	IDR	2,462,531	2,472,243	2.47
Berlian Laju Tanker Tbk PT	35,965,332	IDR	1,430,928	37,812	0.04
Bukalapak.com PT Tbk	8,469,300	IDR	500,836	255,664	0.26
Bumi Serpong Damai Tbk PT	16,772,148	IDR	1,703,177	1,190,708	1.19
Charoen Pokphand Indonesia Tbk PT	7,952,100	IDR	2,820,716	3,323,242	3.32
Cisarua Mountain Dairy PT TBK	1,778,500	IDR	388,590	424,202	0.42
Dayamitra Telekomunikasi PT	13,094,042	IDR	742,064	761,735	0.76
Indah Kiat Pulp & Paper Tbk PT	6,768,500	IDR	5,273,124	3,724,179	3.73
Indocement Tunggul Prakarsa Tbk PT	2,500,300	IDR	2,876,637	2,124,300	2.13
Indofood CBP Sukses Makmur Tbk PT	4,117,600	IDR	2,496,655	2,513,742	2.51
Indofood Sukses Makmur Tbk PT	10,405,200	IDR	5,091,912	4,621,726	4.62
Kalbe Farma Tbk PT	34,708,000	IDR	3,473,291	3,937,669	3.94
Merdeka Copper Gold Tbk PT	18,028,000	IDR	2,875,260	4,934,308	4.94
Sarana Menara Nusantara Tbk PT	59,154,800	IDR	4,628,305	4,673,053	4.68
Semen Indonesia Persero Tbk PT	7,197,900	IDR	5,508,191	3,667,290	3.67
Telkom Indonesia Persero Tbk PT	33,690,600	IDR	7,996,286	9,557,295	9.56
Tower Bersama Infrastructure Tbk PT	13,850,400	IDR	2,586,228	2,868,470	2.87
Unilever Indonesia Tbk PT	10,517,700	IDR	4,647,284	3,032,701	3.03
United Tractors Tbk PT	1,322,486	IDR	2,383,973	2,055,614	2.06
			96,046,844	99,241,968	99.30
株式合計			96,046,844	99,241,968	99.30
投資総額			96,046,844	99,241,968	99.30
その他資産				703,896	0.70
純資産				99,945,864	100.00

「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2021/2/26 ～2022/2/25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.220%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,763円です。
（投信会社）	(15)	(0.143)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.234	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2022年2月25日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	649,500	680,138	99.1	—	33.6	46.3	19.2
合 計	649,500	680,138	99.1	—	33.6	46.3	19.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第321回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第351回 利付国債（10年）	1.0	50,000	50,029	2022/03/20
	第354回 利付国債（10年）	0.1	50,000	50,141	2028/06/20
	第359回 利付国債（10年）	0.1	59,000	59,123	2029/03/20
	第60回 利付国債（20年）	0.1	90,000	89,814	2030/06/20
	第63回 利付国債（20年）	1.4	30,000	30,357	2022/12/20
	第67回 利付国債（20年）	1.8	50,000	51,212	2023/06/20
	第75回 利付国債（20年）	1.9	45,000	46,780	2024/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	20,000	21,283	2025/03/20
	第87回 利付国債（20年）	2.1	38,000	40,625	2025/06/20
	第91回 利付国債（20年）	2.2	55,000	59,869	2026/03/20
	第117回 利付国債（20年）	2.3	135,000	149,018	2026/09/20
合 計		2.1	27,500	31,881	2030/03/20
			649,500	680,138	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。